■令和３年度執行目標（達成状況）　教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
教育部	学校教育課	1	**木津川市立小学校及び中学校の在り方検討**	今後、児童生徒数が減少し小規模校が増加していくと見込まれる中で、児童生徒にとって安心安全で質の高い学力を育む良好な学習環境、教職員の指導体制を充実し、円滑な学校運営を行える教育環境を整えるため、中長期的な展望にたって今後の小中学校の在り方の検討を進める。木津川市における将来の学校運営の様々な可能性を考える「木津川市立小学校及び中学校の在り方基本計画」の２年間での策定に着手する。	概ね達成	年間スケジュールによる委員会を開催し、第２回、第３回の委員会では、ワークショップ形式により実施するなど活発な議論を展開した。 今後、アンケート結果を整理するとともに、委員会で議論を行い、答申を受けて基本計画の策定を進めていく。				
教育部	学校教育課	2	**城山台地区における児童生徒数急増対策**	城山台地区における児童生徒数の急増対策として、小学校敷地内に新学舎を建設し、学びの場である教室数を確保するとともに、運動する場・遊びのスペースを確保する。併せて、本学舎・新学舎ぞれぞれが独立した組織運営を行ないながら、ひとつの学校として、安心安全で一人ひとりを大切にする学校教育を保障するため、教職員の質的・量的充実、外部専門家や地域支援による学校運営体制の強化を進める。 また、校区となる中学校への通学の安全確保対策を進める。	概ね達成	城山台地区の児童生徒急増対策として、今年度は城山台小学校の第２体育館及び児童クラブ３号館の整備、校舎増築棟の二期工事に着手し、来年度にかけ整備を行う。 また、バス運行委託業務、通学路安全推進会議について予定どおり行い、学校運営の専門家等を配置し、学校運営体制の強化、中学校への通学の安全確保対策を進めた。 なお、プール授業委託業務は、新型コロナウイルス感染症の影響で行っていない。	工事進捗率（%）		100	100
教育部	学校教育課	3	**小中学校児童生徒の情報活用能力の育成及び個別最適な学びの実現**	society5.0時代を生きる児童生徒の情報活用能力を育成するため、ＧＩＧＡスクール構想に基づいて整備したタブレットパソコンをツールとして活用し、対話的・協働的な学びおよびAIドリルの導入など、一人一人の特性や学習課題に応じた最適な学びの実現を目指す。	概ね達成	「木津川市GIGAリーダー会」を発足し、各校のICTリーダーを育成した。また、「木津川GIGAハンドブック」を作成し、木津川市が目指す情報教育のビジョンを打ち出した。また、各校のICTを活用した授業の実践をまとめた「木津川GIGA　NEWS」を週に１回発行し、ICTの利活用促進を図った。今後、木津川市情報教育研究会と連携しながら、ICTを活用した授業の目指すビジョンを明確化し、更なる情報教育の推進を図る。	教職員対象の全体研修回数		2	2
教育部	学校教育課	4	**学校施設の改修改善**	木津小学校及び相楽小学校の一部の校舎は、老朽化が進んでいる状態であり、ほかの校舎を含め学校の配置計画を見直し、改築、長寿命化改修及び教育環境の改善等を目的として、学校を運営しながらの校舎全体の整備を行う。 今年度については、昨年度から行っている設計業務を完了し、仮設校舎及び校舎解体撤去工事を行い、来年度へかけて校舎整備工事の発注を行う。	概ね達成	木津小学校、相楽小学校の仮設校舎が完成。木津小学校については、南校舎等の解体工事が完了し、改築工事に着手し来年度末に完成する予定である。また、相楽小学校については、中校舎の長寿命化工事に着手しＲ４年８月完成予定であり、引き続き南校舎、北校舎の整備を行い、完成は令和６年度末の計画である。	工事進捗率（%）		100	100
教育部	学校教育課	5	**学校給食におけるICTを活用した食育の推進**	食育の取り組みについては、従来、栄養教諭が各学校を訪問して授業などを通して指導してきたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中、動画などのコンテンツを食育教材として活用し、食材の生産・調理の過程や生産者の思いなどを「見える化」することにより、地域の農業や学校給食について理解を深めるとともに、地元への愛着形成につなげていく。	概ね達成	地元生産者及び調理・配送業者の協力を得て、食材の収穫から調理配送を経て給食が配膳されるまでの動画を学校給食センターで作成し、市内小中学校に提供した。給食週間に教材として使用され、各学校において、市内農業、学校給食に対する理解等食育の推進に活用された。	コンテンツ数		1	1
教育部	こども宝課	1	**待機児童の解消対策ガイドラインを基とした公立保育所民営化等実施計画の検証・見直し**	本年度が検証期間となっている「公立保育所民営化等実施計画」について、Ⅰ期における実績の検証と現状の把握、国制度や社会情勢の変化等を踏まえ、切れ目のない子育て支援に向けた待機児童ゼロの継続を目指したⅡ期の計画推進への見直しを行う。	概ね達成	公立保育所民営化等実施計画2期に向けた1期の検証として本市の保育施設全園の保護者対象に利用者アンケートを実施するとともに計画実施内容について検証報告をとりまとめ、検証結果から得た現在の保育環境を取り巻く状況等に鑑み一部計画対象園の計画期間を延伸し変更計画を策定した。なお、令和4年度の待機児童についてはゼロとなった。				
教育部	こども宝課	2	**保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討**	幼児期は、生涯にわたる人間形成期の基礎が培われる重要な時期であり、家庭・地域社会における教育とともに教育・保育施設の機能は、保護者ニーズの多様化とも相まってより向上することが求められている。加えて、幼児教育保育の無償化制度の開始等により、施設利用に対する保護者の選択肢が広がっている。 　保護者の就労意欲の高まりや幼児教育に対する保護者要望に対応するため、幼児教育施設における各種サービスの見直しや市全体としての施設の今後の在り方を検討する。	概ね達成	就学前施設のあり方について、教育委員会、子ども子育て会議での報告・審議、パブリックコメント及び保護者説明会を通じて広く市民意見を伺うなどの政策形成過程を経て公立幼稚園再編実施計画を策定した。				
教育部	社会教育課	1	**市民の文化活動の活性化に向けた情報発信拡大への取組み**	生涯学習機会の提供とその充実を図るため、各種サークル情報を更新したうえで、紙媒体やホームページのみならず、市公式アプリを活用した最新情報の提供を行うことで市民サービスのスマート化を図る。	概ね達成	よりわかりやすく情報発信を行うため、サークル情報誌に活動写真を掲載し、公共施設や市内商業施設に配架した。加えて、市ホームページにジャンル別・団体別にサークル情報を検索しやすいように掲載するとともに活動写真動画の配信によるＰＲを行った。なお、市公式ＬＩＮＥアカウントを活用した検索や情報発信についても準備を進めており、次年度に運用開始を予定している。	生涯学習情報誌部数（部）	木津川市生涯学習推進計画	1,000	3,000
教育部	社会教育課	2	**利用者の利便性向上によるスポーツ活動の促進**	利用者の利便性向上によるスポーツ活動の促進について ①体育施設予約におけるキャッシュレス化導入について、具体的な検討をおこない事務を進めていく。 　・中央体育館及び市民スポーツセンターでの窓口支払いのキャッシュレス化について検討する。 　・その他の体育施設予約システムを利用したキャッシュレス化について検討する。 ②体育施設へ自動販売機の設置を導入する。 　・中央体育館（更新）、城址公園及び梅美台公園（新規）への設置を導入する。	概ね達成	①中央体育館、スポーツセンターへの窓口キャッシュレスについて、関係課との調整、利用者への周知等を完了し、令和４年４月から導入運用を開始した。 ②予約システムを利用したキャッシュレス化について、近隣市町の調査や、京都府・関係課との協議・調整を行い、次回システム更新時での導入を目指すこととした。 ②自動販売機を中央体育館(更新２台)、城址公園・梅美台公園(新規各１台)へ設置が完了。	自動販売機の設置　３箇所		3	3
教育部	社会教育課	3	**図書館利用者サービスの向上と読書機会の増加にむけた取り組み**	社会情勢の変化と利用者ニーズの多様化に対応しながら、利用者サービスの向上にむけた取り組みを継続する。 奈良市立図書館との電子図書館共同運用により、人との接触を減らし、また図書館に出かけづらい利用者にも本に親しむ機会を確保する。また、自習席を設け蔵書資料の一般利用に加えて、自主学習場所の設置要望にも対応し、利用者アンケートに基づくサービス向上につなげる。	概ね達成	４月１日より奈良市立北部図書館の電子図書館の利用を開始した。 奈良市立北部図書館及び電子図書館について、図書館貸出冊数全体の10%以上が木津川市民の利用であった。 また、７月１日から開始した自習席の運用について順調な利用となった。 引き続き利用状況を見ながら、ルールの見直しを実施していく。	奈良市北部図書館　木津川市民登録者数（人）		3,129	3,000

■令和３年度執行目標（達成状況）　教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
教育部	文化財保護課	1	**歴史的・文化的遺産の保全と活用**	市内に存在する数多くの貴重な歴史・文化遺産を適切に保存・管理し、市のまちづくりに活かす取り組みを継続する。平成30年度から着手した歴史文化基本構想策定事業から移行した文化財保存活用地域計画の今年度策定を目指し、観光資源や地域振興に活かす取り組みの推進を目指す。併せて、高麗寺跡の整備事業の完了、史跡買い上げ事業等を継続し、活用計画の検討を進める。	一部未達成・成果小	文化財保存活用地域計画について年度内２回の委員会を開催し全８章中、６章までの検討を行った。史跡高麗寺跡については整備事業を完了した。恭仁宮跡についても予定通り公有化を進めることができた。一方、史跡椿井大塚山古墳防災対策工事は曳家工事着工後、法面工事を実施するまでの条件整備に時間を要し、Ｒ４年６月まで工事期間を延長することとなった。				
教育部	文化財保護課	2	**市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開**	市内に数多くある優良な歴史・文化資源を地域の資源として活用を進めるためには、まず木津川市民への周知、保存への理解、活用への協力が不可欠である。ふるさと学習の推進、文化財関係団体等との連携、市役所施設等での啓発展示など普及啓発活動を推進することで、市民から市外の方々へも、貴重な文化財資源の啓発・拡散に繋げる。	概ね達成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での出前授業や講座が減少した（８月２５日恭仁小学校、12月７日老人クラブ）。一方で「広報きづがわ」における文化財の普及啓発記事は年間を通じて連載を行い普及啓発活動に寄与することができた。	講座等実施回数（回）・ＨＰ更新（回）		２	３